



TITLE:

慶應義塾大学井下研究会授業概要

AUTHOR(S):

---

CITATION:

慶應義塾大学井下研究会授業概要. 京都大学高等教育叢書 2000, 7: 154-157

ISSUE DATE:

2000-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/53640>

RIGHT:

●慶應義塾大学井下研究会授業概要

① 4 / 13

- ・ 自己紹介
- ・ 係の決定

② 4 / 20

[本日の内容] : 「自己紹介・井下先生及び井下研究会紹介」

・今日は第2回目の授業でしたが、前回欠席された人もいたので、前回は引き続き、まず履修者の自己紹介を行いました。

・その後井下先生から、配布プリントに沿って、以下の様に御自身の自己紹介と、研究会の紹介がありました。

1. 担当者紹介 (先生の大学時代や留学生活についてなど)
2. 私にとってのSFC・授業と研究会・学部教育と大学院  
(先生の担当科目やこれまでの研究会活動報告、最近関心を持たれていることなどについて)
3. inokenの学習方法 (ゼミではどのように学んでいくのか)
4. 学生に期待するもの・こと
5. inokenの学習支援 (機材や係りにについて)
6. inokenの学習課題 (課題、評価など)

・その後ファカルティラウンジにて全員で食事をし、解散となりました。

・なお、今期井下研究会の履修者は、4年生6名、3年生7名、2年生1名の計14名です。その他に、今年井下研究会を卒業されて、今年の秋大学院に進学される方が1人、TAとしてサポートに付いてくださいます。

[本日の配布プリント]

- ・ 自己 (inoken) 紹介プロフィール
- ・ 「鏡映的自己像」形成のためのイメージ交換ゲーム
- ・ 朝日新聞1998年4月20日「国公立は論理性、私立は視野」

[本日のお薦め文献]

- ・ 京都大学編『開かれた大学授業を目指して』玉川大学出版会
- ・ 潮木守一『京都帝国大学の挑戦』講談社

[来週までの課題]

- ・ 「鏡映的自己像」のシート提出

[本日の感想]

昨年はなかなか聞けなかった、先生の学生時代のお話しなどが聞けて、非常に面白かったです。先生のアメリカ大学院でのすさまじいお話しを聞いて、ふと刈谷剛彦さんの『アメリカの大学、ニッポンの大学』を思い出しました。その他にも「熟考だけでなく行動実践」「自分だけではなく相互啓発」「外から眺める自分」(「inokenで学生に期待するもの」より)など、研究会が始まるにあたり身が引き締まる思いでした。コミュニケーションを一方的なもので終わらせるのではなく、相互にフィードバックさせていく、という形で今年もイノケンを進めていきたいですね。

③ 4 / 27

[本日の内容] : 「自己紹介プロフィール発表・ライフデザイン研究」

・今日は新しく入った二年のMさんの紹介のあと、ライフデザイン研究および京大との合同ゼミの説明、また先週説明された自己紹介プロフィールの2, 3年生による発表が行われました。

[本日の配布プリント]

・ 個々人の自己紹介プロフィール

[課題]

- ・ 「鏡映的自己像」追加分のシート提出
- ・ ライフデザインの原稿を5/7までに提出。全員のコピーを発表以前に入手し、通読しておく。

[本日の感想]

自己紹介プロフィール発表の際、思いもよらぬところから話が膨らんでいきましたが、今日はメンバーの心うちに多少なりともふれることができて良かったと思います。一人あたり5分足らずという自己紹介では、そのひとの思想やバックグラウンドをつかみ取ることはできませんが、今日のような話を積み重ねていくことで、それぞれがどのような人なのか互いに理解していくことができればと思います。

④ 5 / 11

[本日の内容] : メインは先週に引き続き自己紹介

- ・ 17:00～今日はOGの方が一人いらしたので、最初に全員軽く自己紹介（注：今日のメインとは別）しました
- ・ 17:25～自己紹介（2年＋4年 合計7人）

司会とタイムキーパーを決めてスタート。一人当たり「発表4分＋質疑応答4分」となっていたのですが、質問から話がとても膨らんだので、今日の授業は自己紹介のみになりました（今回で自己紹介は終了です）。盛り上がったのは以下の話題。

○「普通」とはどういうこと？

自己紹介の中で「ぼくは普通だと思います」という話があり、そこへの質問から「普通」という言葉をどういう意味でとらえているかという話が続きました。

○慶應とSFC「らしさ・伝統・文化」について

○SFCは慶應っぽい？

中等部から慶應にいる人の「人生の半分を慶應で過ごしているんですね」という発言から、先生の「慶應歴」を訊ね（ちなみに人生の6割とのことです）、そこから慶應らしさ・SFCらしさといった話に発展しました。

○「痴漢」について

「痴漢」の話も、ひよんな質問から広がりました。痴漢に遭いやすい人、遭いにくい人はどんな人か？といった話でした。

○先生のおことばから

「コトバを選ぼう」：語彙を豊富にしていくと同時にそれをうまく使いこなしていくようにしよう。

- ・ 20:00～（研究）論文に関するアナウンス By 井下先生

- なぜそのテーマを取り上げたのか？ここに説得力が必要。
- 書いていて楽しいもの、自分のコトバで。
- KKJについて

[本日の配布プリント]

- ・ 自己紹介書（慶大用追加分）

- ・ 自己紹介書（京大用）
- ・ ライフデザイン
- ・ 鏡映的自己像

[本日の感想]

みんなの質問がすごいなあって、質問が出るたびに思いました。観察力の鋭さとか好奇心の強さ、人への関心の高さが伝わってきます。いい質問を出せる人はすごい。改めてそう感じさせられました。手を挙げて質問をするのですが、司会が「質問は？」と聞いたとたん何人もの手が挙がるのは、本当にすごいです。

人の話をしっかり聞き、吸収し、興味をもってなにかを返す。そういったことがきちんと出来ているんですね。特に4年生。

言葉の使い方の難しさも改めて思い知らされましたね。今回は「普通」という言葉でしたけど、他の言葉でもどういう意味で使っているか話し合ってみると面白そうです。

7人の自己紹介だけで1回の授業が終わってしまうなんて、他の研究会の人が聞いたら「信じられない研究会」のようですが、この自己紹介から得たものはとても大きかったです。

⑤ 5 / 18

- ・ 配布物→なし
- ・ 17:00～ライフデザイン発表
  - Uさん→K君→Aさん→Oさん→T→Mさん
  - (5分間休憩)
  - ライフデザイン発表の続き
  - Eさん
- ・ 盛り上がった話題
  - 結婚観（家庭に入る男性について・仕事をもっていない女性は魅力的じゃないか？など）
  - セラピストとは何か？

[感想]

特に、結婚観については各人がそれぞれ考えを持っていて、意見の交換が出来たことは大変有意義だったと思う。合宿の際にもぜひ、トピックとして取り上げたら、新たな考えに触れられて、いいのではないかと思います。

⑥ 5 / 25

- ・ 17:00～ライフデザイン発表
  - (1 R 2 H 3 Y 4 I 5 S 6 Z 7 D 8 L 敬称略)
  - 自分らしさとはなにか
  - 多くの経験とはなにか
  - 帰国子女コンプレックス
  - DEATH DESIGNとは
  - 結婚観について
  - 恋人と創る内の世界
  - 親による子のためのライフデザイン（習い事について・よい親とは何か）

⑦ 6 / 1

- ・ 4:40～春学期論文計画発表（知的関心テーマ）。発表：2分、先生からのコメント：1分(2, 3, 4年全員)。

- Iさん「受験負担の軽減が大学生の学力に与える影響について」
- Yさん「野外活動と集団生活の与える影響」
- Uさん「通貨と為替」
- Oさん「学歴社会と大学入試」
- Sさん「異文化コミュニケーション，SFCステージ，自分史」
- Aさん「教育」
- Kさん「デザインと社会」
- Eさん「広告」
- Tさん「交渉における異文化の影響について」
- Zさん「家族がこれからどんな方向へ進んで行くのか」
- Dさん「イベントのつくりかた」
- Hさん「心理ゲーム，心理テスト」

・6：00～KKJ合宿の説明（by井上さん）

#### ⑧6／8

・論文作成に関する手法の説明など

→次回までにレポートの書き方に関する本を読み，その内容をまとめ，A4一～三枚に書いてくる。

・論文の書き方についての留意点

○最後に参考文献リストをつける

○16人分コピーして授業時配布

→鏡映的自己像を終えての感想文を次回までに書いてくる（A4一枚くらい）

・京都大学の田中先生と神藤先生を交えてKKJに関する，情報の交換。

・お互いの印象について

○授業の雰囲気の違い

○男女差からくる雰囲気の違い

・KKJのセッションに関して：基本的に学生に内容が任せられている

・ゼミ終了後食事会。

・田中先生と神藤先生にお菓子をお土産にいただきました！どうもありがとうございました。

#### ⑨6／29

・17：00～春学期最終論文に関して

形式としては，論文に類するもの。枚数自由で，随筆や散文でも構わない。したがって学術論文である必要性はない。（前日の夜8：00までにメールで題名およびページ数をOさんまで送ってください。）

・17：15～

○KKJの感想

○KKJと井下研究会について

○井下研究会のあり方について